生産方式革新実施計画の概要 【株式会社 平間商事】

2026年
11月19日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

×

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

株式会社 平間商事
（山形県東置賜郡川西町）
経営概況（2026年11月時点）
経営規模：水稲19ha、枝豆1.4ha、
子実とうもろこし 1.5ha
従業員数：４名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

５年間

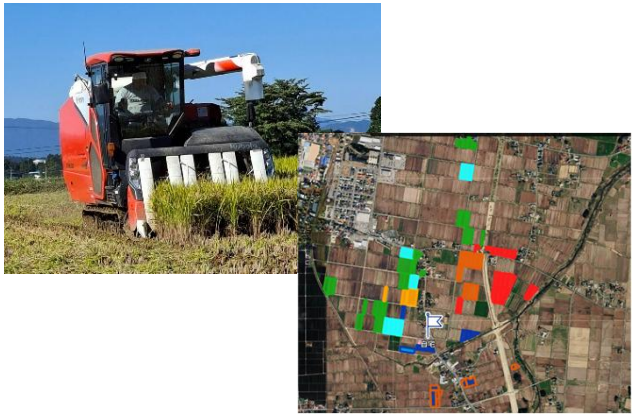
<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ　等>



株式会社平間商事の皆様



栽培管理システム（KSAS）と
収量センサコンバイン

～認定を受けて一言～

以前から収量データは記録していたものの、収集したデータを生かす場面がなかったため、今回の認定をきっかけに大いに活用し、適切な栽培管理を行いながら、地域農業の発展に寄与したい。

【問合せ先】 東北農政局生産部環境・技術課　（直通）022-221-6193